

## 採用企画「世代をつなぐ幼大老ブリッジ ～thinking of 21～」

(代表者 内田 貴子)

### 企画概要

職人技に触れ、失われつつある日本文化を学び、それを子供たちに伝えるとともに、老人ホーム訪問により、子供、大学生、老人の融合を図り、急速に加速する少子・高齢化を考える。

### 活動状況

7月上旬

幼稚園、老人ホームに協力の依頼

7月30日 京菓子作り体験(八つ橋)

幼稚園の子供たちに京都の伝統を伝えるという企画で、楽しく伝統を学んでほしいと思い、京菓子を一緒に作ろうと思いました。そこで、京都のお土産としてとても有名な「八つ橋」を選び、その作り方を体験しに行きました。

9月14日 上賀茂幼稚園訪問

老人ホームにて行う三世代交流の前に子供たちと私たちとまずコミュニケーションとるために、老人ホームの飾りつけとして使う折り紙のわっかの製作・お手玉作りをしました。

9月17日 三世代交流

柘野特別養護老人ホームのデイサービスをご利用のお年寄りたちと、上賀茂幼稚園の子供たちと、私たち葵寮生が老人ホームにて三世代の交流をしました。最初に園児たちが歌を歌ってくれた後、グループに分かれて折り紙でくす玉作り、そして幼稚園訪問の際に共同作業で仕上げたお手玉を用いて楽しく遊びました。

11月14日 京菓子(練り菓子)・西陣織体験

1月に実施する予定の子供たちに伝統を伝えるという企画のために、京菓子作り、そして西陣織を体験してきました。京菓子は子供たちと共に作るので、7月に作った八つ橋とはほかに、作りやすいものはないかと考え、練り菓子にも挑戦しました。西陣織は今回この企画に協力をしてくださった老人ホームに私たちが作った西陣織をお礼の形として寄付したく思います。

12月

上賀茂幼稚園の保護者に対して「少子高齢化」についてのアンケートを実施。三世代交流への子供たちの協力のお礼として、写真を差し上げました。

## 今後の予定

1月上旬～2月下旬 幼稚園児に伝統を伝える（八つ橋作り等）  
アンケート集計、幼稚園、老人ホームにて少子高齢化についての勉強会

## 感想

### ・京菓子作り(八つ橋)について

実際に体験して感じた事は、八つ橋作りには多くの道具が必要で実際作るのがとても大変であるという事です。現在は機械で作られています但本来の道具で子供達と作るには無理を感じました。そこで伝統を教える際は、八つ橋の由来・作り方を紙芝居でやり、実際八つ橋の皮まで出来上がったものを準備し、餡を中に入れて食べ伝統を伝えようと思います。

### ・幼稚園訪問、三世代交流について

子供たちの元気さには本当に驚きました。私たちが説明することを真剣に聞いてくれて一生懸命お手玉づくりに取り組んでくれました。私たちにとっても慣れない作業を子供たちは自分でうまく工夫して協力している姿を見て、完成したお手玉を見て嬉しそうにはしゃぐ子供たちを見て私たちが嬉しくなりました。今の子供たちにとってはお手玉を使って遊ぶことはありませんがお年寄りたちがすごく上手にお手玉を扱う様子には見入って、積極的に習い、「できた～～！！」と歓声をあげていました。お年寄りの方々も子供たちのお遊戯を見てとても喜んでくださり、1時間という短い時間でしたが子供たちもお年寄りたちも楽しい時間を過ごしてもらえたと思います。

### ・京菓子作り(練り菓子)・西陣織体験について

練り菓子づくりは目の前で職人さんがわかりやすい説明をしながら作り方を実演して下さり、とても楽しみながら作れました。また、京菓子作りの職人さんは数が少ないということも知りました。今回は季節のお菓子(柿と桔梗)の形に挑戦しました。手でこねて丸めたり、手に神経を集中させる楽しみを味わいました。西陣織はとても複雑な機械を目の前にちゃんと織れるか不安でしたが、プロの方が付き添ってくれたので安心して織ることができました。複雑そうに思えましたが単純で簡単にできました。色合いがとても美しい仕上がりになり、西陣織を体験できてよかったと思います。

今回のこの企画は幼稚園、老人ホームの方々の協力無しでは成り立ちません。企画協力を得るために、飛び込みで電話をして、企画を説明し、アポを取ることが大変でした。しかし、お忙しい中、私達の企画、趣旨を真剣に聞いてくださった方々に感謝します。とまどうことも多々ありましたが、子供たちとのお手玉作り、そして三世代の交流はとても有意義なものとなったと思います。今後アンケートや勉強会を通して少子高齢化を考えていきたいと思っています。